

一一五八番

住吉すみのえの 沖おきつ白波しらなみ 風吹かぜふけば 来寄きよする浜はまを 見み

れば清きよしも

一一五九番

住吉すみのえの 岸きしの松まつが根ね うち曝さらし 寄よせ来くる波なみの

音おとのさやけさ

一一六〇番

難波なには潟がた 潮干しほひに立たちて 見渡みわたせば 淡路あはぢの島しまに

鶴渡たづわたる見みゆ

一一六一番

家離いへさかり 旅たびにしあれば 秋風あきかぜの 寒さむき夕ゆふへに 雁鳴かりな

き渡わたる